

モットー「楽しき中にも規律あり」 トップより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

一般組
各位

2026年3月7日

松愛会 兵庫東歩こう会

第339回 例会「川西市郷土館」ご案内

4月の例会は、日生中央から山の原ゴルフ場、鳴尾ゴルフ場の縁を散策しながら多田銀山関連資料、川西の旧家などを集めた川西市郷土館を訪れます。

記

集合日時： 2026年4月16日(木) 10時30分 受付開始：10:00

集合場所：能勢電鉄「日生中央駅」南口広場(改札を出て右側)

トイレは出発前にもう一度済ませてくさい(郷土館まで1時間半トイレはありません。
トイレは日生中央サピエ内にあります。

雨天対応：気象庁のホームページ(URL：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)で、兵庫県南部の例会前日の17時に発表される翌日の予報で06-12時、12-18時のいずれかの降水確率が50%を超えた時は中止します。

コース：能勢電-日生中央駅(120m)～山の原G道(100m)～北陵高校(125m)～戸隠神社(95m)～川西市郷土館(100m)～山下駅(86m)

歩行距離 4.0km、総所要時間 3h55min、標高差 40m 難易度：★★

服装：長袖シャツ、長ズボン、手袋、帽子、靴(郷土館では靴を脱ぐ会場があります、履きやすくかつ長距離歩ける靴で)

持参物：弁当、おやつ、飲料水、敷物(東屋はありますが数名しか椅子がありません、記念館内の食事は禁止です)、タオル、雨具

費用：600円(参加費+入館料:100円(団体割引)) (釣り銭のないようお願いします)

保険：歩こう会で発生した事故については会として一切の責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体障害保険に加入してま。

電車案内：阪急電車+能勢電鉄

	阪急宝塚線			のりかえ	阪急宝塚線		能勢電	
	梅田	十三	川西能勢口		宝塚	川西能勢口	日生中央	
宝塚行	9:20	9:23	9:41		9:30	9:42	9:54	10:14
宝塚行	9:30	9:33	9:51		9:40	9:52	10:04	10:24

みどころ：

郷土館：川西市郷土館は、銅の製錬を業としていた旧平安家住宅を利用して、昭和63年11月に開館されました。ついで平成2年11月には、川西市内の小戸地区にあった洋館の旧平賀家住宅を移築復元されました。平成7年11月には、青木・平通両画伯記念館として、ミュージアムポアールをオープンし、同時に旧平安家住宅において、一色八郎氏のコレクションである箸の展示室を鉾山資料展示室とともに公開されています。平成22年2月には、平通画伯のアトリエを再現したアトリエ平通をオープンし、絵画教室等を行なわれています。

川西市ホームページより(youtube)

[【川西市公式】川西市郷土館～歴史と にふれる街](#) Ctrl+改行キー で開けます

連絡事項：途中からの参加、途中からの帰宅、コースを外れた行動は一切お断りします。

受付：当日、現地での参加の受付、参加費をいただきます。

[問合せ先]甲斐、松井

平安製錬所

「製錬の町」
下財に残る
産業遺産

明治時代の平安製錬所

近代化と伝統が息づく平安製錬所の歴史

問い合わせ 生涯学習課 ☎ 072(740)1244

近代化と伝統が共存した「平安製錬所」

江戸時代の初めに最盛期を迎えた多田銀銅山。江戸時代に製錬で栄えた市北部の下財町には、明治時代になってからも操業していた平安製錬所がありました。

平安家が経営していたこの製錬所では、多田銀銅山などで採れた鉱石を製錬して銅を作っていました。時代の変化に合わせてレンガ造りの建物や機械駆動の送風機を導入し、生産効率化を図り操業を続けていました。最終工程には、江戸時代から受け継がれてきた伝統技法「真吹炉」を残し、熟練の技による仕上げを続けていたことが特長です。

多田銀銅山で採掘がされなくなってからも操業を続けていた平安製錬所ですが、昭和10年(1935年)ごろになると煙害の発生や世界的な経済不況の影響などが重なり、多田銀銅山最後の製錬所はその幕を下ろしました。



1. 真吹炉跡。溶鉱炉で溶かしたものをさらに熱し純度を上げる炉。ここで出来た、粗銅を型に流し固めて出荷する 2. 溶鉱炉跡。鉱石とコークス・石炭を高温で溶かして銅を取り出すための大型炉

地名に刻まれた「製錬の町」の記憶

下財町の名は、鉱山で採鉱作業に従事する労働者を指す言葉「下財」に由来します。隣には、かつて日本各地で用いられた銅の製錬技法「山下吹」(※)に名を残す山下町があります。こうした地名の存在は、下財・山下地区が古くから採鉱と製錬の中心地として栄えてきたことを物語り、この地域の産業と文化の歴史を今に伝える手がかりとなっています。

(※) 山下の地で発明されたと伝わる酸化製錬技術。品位の低い硫化銅を、木炭と火にくべて強風を送り溶融させることで硫黄分を取り除くことができる技法。これにより銅の生産性が向上したとされる

平安家邸宅が「郷土館」として公開

平安家の邸宅は、地域の歴史を伝える場として昭和63年(1988年)に「郷土館」として一般公開され、平安製錬所で使われた道具も展示されています。製錬所の建物自体は残っていませんが、発掘調査によって明らかになった真吹炉跡や送風機小屋跡の他、溶鉱炉や製錬で出た不純物であるカラミの捨て場は郷土館の敷地内で見学することができます。こ



した調査や保存活動によって、近代化と伝統が共存した地域の製錬文化の名残りを見ることができます。

CHECK & QUIZ 次の空欄(○の中)を埋めてください。

1:市○スポーツ賞を3人が受賞 2:○野豆腐でヘルシーカレー

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、2月10日(火)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。

※1月号の正解は(春)(エ)で、124件の応募がありました。



12月末現在の人口 (○内は前月比)

男……………71,584人 (-9)
女……………80,614人 (-18)
計……………152,198人 (-27)
世帯数…72,286世帯 (+7)